

日時:8月28日(水) 13:00 - 15:00

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「ラ ヴェラ」



共催:環境省

サブサハラ・アフリカ 気候変動との闘い

背景

サブサハラ地域では、気候変動の影響により砂漠化や干ばつ、局地的な豪雨や洪水、サイクロン被害が深刻になっており、人間の安全保障が脅かされる事態が生じている。特に、自然資源と農業・牧畜に依存している乾燥地・半乾燥地の貧困層は気候変動の影響を受けやすく、土壌劣化や自然資源・水資源の枯渇が引き起こされ、貧困や治安の悪化が進む負の連鎖に陥っている。第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)のナイロビ実施計画では、地域の平和と安定および持続的開発の実現のために、持続的森林管理、統合水資源管理、砂漠化対策、農業生産性の向上を通じたアフリカ諸国の気候変動に対するレジリエンス強化を打ち出した。また、国連砂漠化対処条約の下、JICAは「サヘル・アフリカの角 砂漠化対処による気候変動レジリエンス強化イニシアティブ(AI-CD)」を立ち上げてアフリカの国々が砂漠化対処を促進するためのネットワーク化や開発資金へのアクセス強化の支援に取り組んできている。

目的

サブサハラにおける最新の気候変動の実態と課題を明らかにし、アフリカ諸国がいかに気候変動適応策に取り組めるか、また、開発パートナーや民間がいかにこの課題に貢献できるか議論する。

キークエスチョン

- ▶ サブサハラ・アフリカにおいて気候変動によって深刻化している、また、深刻化すると予測される脅威は何か？
- ▶ 気候変動によって引き起こされる問題に対し、ステークホルダーと連携しつつ、アフリカ諸国はどのような対応をとり得るのか？
- ▶ どのようにマルチセクター／統合的なアプローチによるプロジェクト形成を促進し、また、スケールアップのための資金とマッチングさせるのか？

登壇者

小池俊雄 水災害・リスクマネジメント国際センター長
Dr. Ibrahim M. Mohamed ケニア環境森林省主席次官
Mr. Amadou Lamine Guisse セネガル環境・持続開発省次官
Mr. Sameh Wahba 世界銀行都市・強靱性・土地開発グローバルディレクター
Mr. Zewdu Seifu エチオピア水技術機構 教育訓練総局長
WaterAid 代表(NGO) (調整中)
熊平智伸 Komaza コーポレートファイナンスダイレクター
環境省(調整中)
天野雄介 JICA 理事
武藤めぐみ JICA 地球環境部長